



# 技術開発本部およびテクノフェア2022のご紹介

## 中部電力株式会社

2022年10月5日

# 技術開発本部のご紹介



敷地面積 約51,300m<sup>2</sup>  
建物面積 約22,200m<sup>2</sup>

大高エリア

## 【所在地】

名古屋市緑区大高町字北関山20-1

## 【設立】

1965年6月

## 【研究所の構成】

### 電力技術研究所

○各事業会社の技術課題解決および事業基盤強化等に資する新技術調査・研究・開発

### 先端技術応用研究所

○新ビジネス・サービス創出およびソリューションサービス等に資する新技術調査・研究・開発  
○新技術等の利活用に関する市場調査

### 原子力安全技術研究所

○原子力発電の安全性・信頼性の向上等に資する新技術調査・研究・開発

## 技術開発本部

## 各業務部門



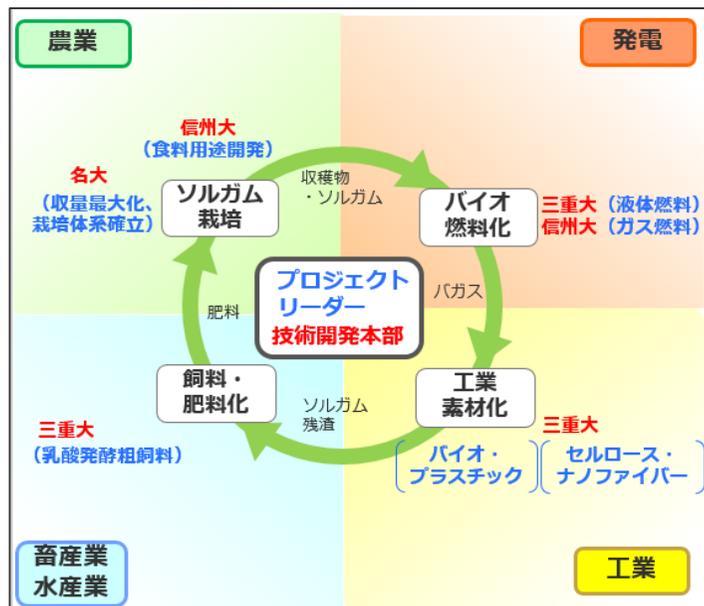
## 「経営ビジョン2.0」の実現に向けた重点7分野

1. 再生可能エネルギーの拡大
2. 水素・アンモニアのサプライチェーン構築
3. 原子力発電の最大限活用
4. エネルギープラットフォームによる価値提供
5. データプラットフォームによる価値提供
6. お客さまとの接点拡大・価値提供
7. 資源循環事業の展開

# テクノフェア2022展示内容の一部ご紹介

## ■ ソルガムを用いた地域資源循環

今後期待されている循環型社会実現に向けた植物資源の活用技術として、「ソルガム」のカスケード利用（栽培⇒燃料・樹脂原料としての再利用）についてご紹介。



【ソルガム】イネ科の植物。  
やせた土地でも良く育ち、3カ月ほどで  
3m程度にまで成長する。



<共同研究>

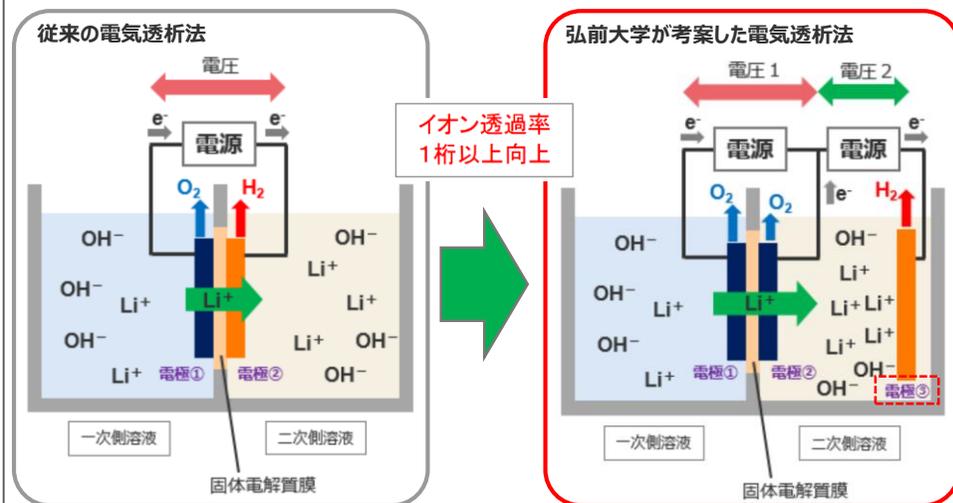
名古屋大学、三重大学、信州大学

## ■ リチウムの効率的な回収技術の確立を目指した基礎研究

電気透析によるリチウム資源採取・回収における現象の解明、技術の高度化に必要な基礎的知見の獲得、および同技術の高度化・高性能化を目指す基礎研究についてご紹介。

- 特長**
- 従来電気透析法に第3極(下図 電極③)を追加し、リチウムイオンの透過を促進
  - 電極③で水素ガスを発生させることで阻害要因を解消(Li<sup>+</sup>の透過効率が大幅UP)
  - 電圧2で固体電解質膜の電位を高め、還元劣化を防ぐ

- 用途**
- リチウムイオン電池のリサイクル溶液からのリチウム回収
  - (将来)塩湖・海水などからのリチウム採掘



<共同研究> 弘前大学、トヨタ自動車

# テクノフェア2022のご案内

## 現地開催（技術開発本部）

日時：10月27日（木）、10月28日（金）  
 各日9：30～15：45  
 （午前の部 9:30-12:00 午後の部 13:15-15:45）

場所：中部電力株式会社 技術開発本部

住所 連絡先	〒459-8522 名古屋市緑区大高町字北関山20-1 TEL：052-621-6101（代表）
アクセス 方法	J R 東海道本線「南大高」駅より徒歩7分 国道23号線共和ICより約5分 （注）駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



## WEB公開（当社ホームページ）

期間：10月27日（木）～12月23日（金）予定

場所：当社ホームページ上に特設サイトを開設

内容：**音声や動画**などを多く使い、**展示会が身近に感じられる**ようにご説明いたします  
 パソコンやスマートフォンなどから**いつでもどこでもご見学**いただけます